



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 株式会社阿波銀行 上場取引所 東
 コード番号 8388 URL <https://www.awabank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 福永 丈久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括部長 (氏名) 豊田 晃 (TEL) 088-623-3131
 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	37,937	73.6	8,326	56.5	5,809	53.7
2026年3月期第1四半期	21,849	10.5	5,317	△10.9	3,777	△11.6

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 18,043百万円(122.3%) 2026年3月期第1四半期 8,114百万円(296.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	149.43	—
2026年3月期第1四半期	95.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,214,891	414,390	9.8
2026年3月期	4,171,990	399,617	9.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 414,390百万円 2026年3月期 399,617百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	60.00	—	82.50	142.50
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	100.00	—	90.00	190.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2026年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 72円50銭 創業130周年記念配当 10円00銭
 2027年3月期 第2四半期末配当金(予想)の内訳 普通配当 90円00銭 創業130周年記念配当 10円00銭
 2027年3月期 期末配当金(予想)の内訳 普通配当 90円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	65,700	38.5	15,200	30.3	10,100	22.3
通期	117,600	23.3	26,000	19.1	17,600	13.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	40,000,000株	2026年3月期	40,000,000株
2027年3月期1Q	1,121,552株	2026年3月期	1,123,481株
2027年3月期1Q	38,877,140株	2026年3月期1Q	39,422,528株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料につきましては、当第1四半期決算短信に添付しております。

【添付資料】

〔目次〕

1. 経営成績等の概況	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. 2027年3月期 第1四半期 決算説明資料	
(1) 損益状況(単体)	10
(2) 預金・預かり資産の状況(単体)	11
(3) 貸出金の状況(単体)	12
(4) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示(単体)	14
(5) 時価のある有価証券の評価差額(連結)	15
(6) 自己資本比率(国内基準)(連結・単体)	15

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

ただし、3.(4)金融再生法ベースのカテゴリーによる開示の総与信残高比については、小数点第3位以下を四捨五入しております。

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)の経営成績について、経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増収に加え、アセットスワップ解約益の計上に伴うその他業務収益の増収及び株式等売却益を中心としたその他経常収益の増収などから、前第1四半期連結累計期間比160億88百万円増収の379億37百万円となりました。

また、経常費用は、預金利息の増加に加え、国債等債券売却損を中心としたその他業務費用の増加などから、前第1四半期連結累計期間比130億79百万円増加し、296億11百万円となりました。

この結果、経常利益は、前第1四半期連結累計期間比30億9百万円増益の83億26百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間比20億31百万円増益の58億9百万円となりました。

セグメントの業績につきましては、銀行業の経常収益は、貸出金利息、有価証券利息配当金の増収に加え、株式等売却益及びアセットスワップ解約益の計上などから、前第1四半期連結累計期間比160億85百万円増収の334億76百万円となりました。また、経常利益は、前第1四半期連結累計期間比28億66百万円増益の80億56百万円となりました。

リース業の経常収益は、リース売上高等の増収から、前第1四半期連結累計期間比4百万円増収の45億80百万円となりました。また、経常利益は、与信関連費用の減少などから経常費用が減少し、前第1四半期連結累計期間比1億44百万円増益の2億72百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末(2026年6月30日)における財政状態について、総資産額は、前連結会計年度末(2026年3月31日)比429億円増加し、4兆2,148億円となりました。また、純資産額は、前連結会計年度末比147億円増加し、4,143億円となりました。

譲渡性預金を含めた預金は、個人預金、法人預金及び公金預金が増加したことから、前連結会計年度末比546億円増加し、3兆4,734億円となりました。

貸出金は、事業性貸出金及び地方公共団体等向け貸出金等が増加したことから、前連結会計年度末比192億円増加し、2兆5,406億円となりました。

有価証券は、安全性・流動性を重視しつつ効率的な運用に努めた結果、前連結会計年度末比117億円増加し、1兆1,908億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、2026年7月28日公表の数値から変更はありません。

なお、2027年3月期通期の連結業績予想につきましては、今後の経済・金融情勢等が不透明であることから、2026年5月15日に「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました数値を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
現金預け金	346,435	360,106
有価証券	1,179,135	1,190,897
貸出金	2,521,425	2,540,626
外国為替	11,640	9,120
リース債権及びリース投資資産	36,918	37,553
その他資産	44,347	45,001
有形固定資産	39,290	39,522
無形固定資産	3,276	3,175
繰延税金資産	302	302
支払承諾見返	7,892	7,590
貸倒引当金	△18,675	△19,005
資産の部合計	4,171,990	4,214,891
負債の部		
預金	3,282,337	3,331,570
譲渡性預金	136,519	141,898
借用金	225,210	190,747
外国為替	4	59
社債	387	375
その他負債	59,661	62,405
賞与引当金	29	—
役員賞与引当金	76	—
役員退職慰労引当金	10	7
従業員株式報酬引当金	275	314
役員株式報酬引当金	642	681
睡眠預金払戻損失引当金	57	49
偶発損失引当金	1,588	1,510
繰延税金負債	55,115	60,752
再評価に係る繰延税金負債	2,562	2,538
支払承諾	7,892	7,590
負債の部合計	3,772,373	3,800,501

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
資本金	23,452	23,452
資本剰余金	20,106	20,106
利益剰余金	216,021	218,609
自己株式	△3,683	△3,678
株主資本合計	255,897	258,489
その他有価証券評価差額金	125,659	138,901
繰延ヘッジ損益	13,432	12,423
土地再評価差額金	4,628	4,574
その他の包括利益累計額合計	143,720	155,900
純資産の部合計	399,617	414,390
負債及び純資産の部合計	4,171,990	4,214,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
経常収益	21,849	37,937
資金運用収益	13,204	16,106
(うち貸出金利息)	7,696	9,073
(うち有価証券利息配当金)	5,083	6,380
役務取引等収益	2,564	3,122
その他業務収益	4,662	9,447
その他経常収益	1,417	9,261
経常費用	16,531	29,611
資金調達費用	2,475	3,532
(うち預金利息)	1,420	2,442
役務取引等費用	302	141
その他業務費用	4,476	16,282
営業経費	8,139	8,583
その他経常費用	1,137	1,069
経常利益	5,317	8,326
特別利益	—	1
固定資産処分益	—	1
特別損失	41	105
固定資産処分損	12	7
減損損失	29	97
税金等調整前四半期純利益	5,276	8,222
法人税等	1,498	2,412
四半期純利益	3,777	5,809
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,777	5,809

四半期連結包括利益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
四半期純利益	3,777	5,809
その他の包括利益	4,336	12,233
その他有価証券評価差額金	3,428	13,242
繰延ヘッジ損益	907	△1,008
四半期包括利益	8,114	18,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,114	18,043

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の処理

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

また、一部の連結子会社の税金費用は、税引前四半期純利益に、前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じることにより算定しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	銀行業 (百万円)	リース業 (百万円)	計 (百万円)		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	17,311	4,537	21,849	—	21,849
セグメント間の内部経常収益	79	37	117	△117	—
計	17,390	4,575	21,966	△117	21,849
セグメント利益	5,189	127	5,317	0	5,317

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っており、また、セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間の取引により発生したものであります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

銀行業において、営業利益の減少によるキャッシュ・フローの低下及び地価の下落した事業用資産等並びに移転・建替えの決定に伴い除却を予定している資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額29百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	銀行業 (百万円)	リース業 (百万円)	計 (百万円)		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	33,396	4,541	37,937	—	37,937
セグメント間の内部経常収益	79	39	118	△118	—
計	33,476	4,580	38,056	△118	37,937
セグメント利益	8,056	272	8,329	△2	8,326

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っており、また、セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間の取引消去であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

銀行業において、営業利益の減少によるキャッシュ・フローの低下及び地価の下落した事業用資産等並びに移転・建替えの決定に伴い除却を予定している資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額97百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）の償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	695百万円	706百万円

3. 2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

(1) 損益状況(単体)

当第1四半期の業績について、コア業務純益は、資金利益及び役務取引等利益の増益に加え、国内債券の一部入れ替えに伴いアセットスワップ解約益を計上したことなどから、前年同期比 68 億 58 百万円増益の 118 億 61 百万円となりました。

また、経常利益及び四半期純利益は、有価証券関係損益が減益となったものの、コア業務純益の増益が寄与したことなどから、それぞれ同 28 億 99 百万円増益の 79 億 90 百万円、同 19 億 58 百万円増益の 55 億 85 百万円となりました。

なお、2027年3月期第2四半期累計期間の業績予想は、政策保有株式を含む株式の売却益が当初予想を上回る見込みであることなどから、2026年7月28日に修正を発表しております。

				(単位:百万円)
	2027年3月期 第1四半期 (3カ月間) (A)	2026年3月期 第1四半期 (3カ月間) (B)	前年同期比 (A)-(B)	2027年3月期 第2四半期累計 期間業績予想 (進捗率)
経常収益	32,935	16,858	16,077	55,900 (58.9%)
業務粗利益(除く国債等債券関係損益)	19,862	12,602	7,260	
資金利益	12,631	10,758	1,872	
役務取引等利益	2,568	1,880	688	
その他業務利益 (除く国債等債券関係損益)	4,663	△ 35	4,699	
経費(臨時処理分を除く)	8,001	7,599	401	
実質業務純益 (業務純益(一般貸倒引当金繰入前))	△ 154	4,751	△ 4,906	
コア業務純益	11,861	5,003	6,858	19,000 (62.4%)
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	11,861	4,902	6,959	
一般貸倒引当金繰入額①	△ 163	△ 10	△ 153	
業務純益	9	4,762	△ 4,753	
うち国債等債券関係損益②	△ 12,016	△ 251	△ 11,765	
臨時損益	7,980	327	7,653	
不良債権処理額③	1,074	791	283	
個別貸倒引当金繰入額	1,052	661	391	
偶発損失引当金繰入額	△ 78	52	△ 130	
その他の債権売却損等	99	77	21	
償却債権取立益④	304	188	116	
株式等関係損益⑤	8,805	969	7,835	
その他の臨時損益	△ 55	△ 39	△ 15	
経常利益	7,990	5,090	2,899	14,500 (55.1%)
特別損益	△ 105	△ 41	△ 63	
四半期純利益	5,585	3,627	1,958	9,600 (58.1%)
有価証券関係損益(②+⑤)	△ 3,210	718	△ 3,929	
実質与信費用(①+③-④)	605	591	13	

(2) 預金・預かり資産の状況(単体)

① 預金の残高

譲渡性預金を含めた預金の残高は、前年同期(2025年6月末)比で法人預金は減少しましたが、個人預金及び公金預金が増加したことから、同590億円の増加となりました。

(単位：億円)				(参考)(単位：億円)	
	2026年6月末	2025年6月末比	2026年3月末比	2025年6月末	2026年3月末
預 金 (A)	33,365	610	489	32,755	32,876
譲渡性預金 (B)	1,458	△ 19	53	1,478	1,405
総 預 金 (A)+(B)	34,824	590	542	34,233	34,281
うち個人預金	21,470	524	122	20,946	21,348
うち法人預金	9,642	△ 150	287	9,793	9,355
うち公金預金	3,150	211	228	2,939	2,922
預金等利回り	0.30%	0.13	0.09	0.17%	0.21%

② 預かり資産の残高

預かり資産の残高は、個人年金保険等が前年同期比275億円、金融商品仲介業務における預かり資産残高が同3,973億円それぞれ増加しました。

(単位：億円)				(参考)(単位：億円)	
	2026年6月末	2025年6月末比	2026年3月末比	2025年6月末	2026年3月末
当行 個人年金保険等	2,879	275	61	2,604	2,818
金融商品仲介業務における預かり資産残高合計	15,068	3,973	1,302	11,094	13,765
野村証券(株)仲介口座(注1)	14,861	3,926	1,282	10,935	13,579
野村証券(株)以外の仲介口座(注2)	206	47	20	159	185

(注1) 当行と野村証券(株)旧徳島支店からの移管口座の残高等を合算して記載しております。

(注2) 四国アライアンス証券(株)・大和証券(株)・(株)SBI証券を委託元とする金融商品仲介口座です。

(3) 貸出金の状況(単体)

① 貸出金の残高

貸出金の残高は、個人ローンが前年同期比 72 億円減少しましたが、一般貸出金が同 1,009 億円増加し、全体では同 1,012 億円の増加となりました。

(単位：億円)				(参考)(単位：億円)	
	2026年6月末	2025年6月末比	2026年3月末比	2025年6月末	2026年3月末
貸出金(末残)	25,454	1,012	206	24,442	25,247
一般貸出	20,184	1,009	119	19,175	20,065
地公体等	1,914	75	109	1,838	1,804
個人ローン	3,355	△ 72	△ 22	3,427	3,377
うち住宅ローン	3,073	△ 90	△ 27	3,163	3,100
貸出金利回り	1.45%	0.19	0.14	1.26%	1.31%

② 中小企業等貸出金残高の状況

中小企業等貸出金残高は、お客さまへの積極的な資金供給に努めたことなどから、中小企業貸出金残高が前年同期比 1,037 億円増加し、全体では同 964 億円の増加となりました。

中小企業等貸出金比率は、同 0.73 ポイント上昇し、77.54%となり、引続き高い水準を維持しています。

(単位：億円)				(参考)(単位：億円)	
	2026年6月末	2025年6月末比	2026年3月末比	2025年6月末	2026年3月末
中小企業等貸出金残高	19,738	964	△ 33	18,774	19,772
中小企業貸出金残高	16,383	1,037	△ 10	15,346	16,394
個人ローン残高	3,355	△ 72	△ 22	3,427	3,377
中小企業等貸出金比率	77.54%	0.73	△ 0.77	76.81%	78.31%

③ 地域別貸出金の状況

ストラクチャードファイナンスの取組み強化を目的に、2026年4月に対象となる貸出金を本部専門部署へ移管(※)いたしました。これを主な要因として、地域別貸出金の残高は、徳島県内で前年同期比 533 億円の増加となりました。

	(単位：億円)			(参考)(単位：億円)	
	2026年6月末	2025年6月末比	2026年3月末比	2025年6月末	2026年3月末
徳島県内	13,556	533	576	13,022	12,979
関西地区	4,967	270	60	4,697	4,906
徳島県以外の中四国地区	2,690	213	△ 70	2,476	2,761
関東地区	4,240	△ 5	△ 360	4,245	4,600
合計	25,454	1,012	206	24,442	25,247

(※) 上記移管を修正した実質の地域別貸出金の増減は以下の通りです。

	(単位：億円)		
	2026年6月末	2025年6月末比	2026年3月末比
徳島県内	13,556	172	65
関西地区	4,967	303	94
徳島県以外の中四国地区	2,690	262	△ 21
関東地区	4,240	273	69
合計	25,454	1,012	206

④ 信用保証協会付融資の状況

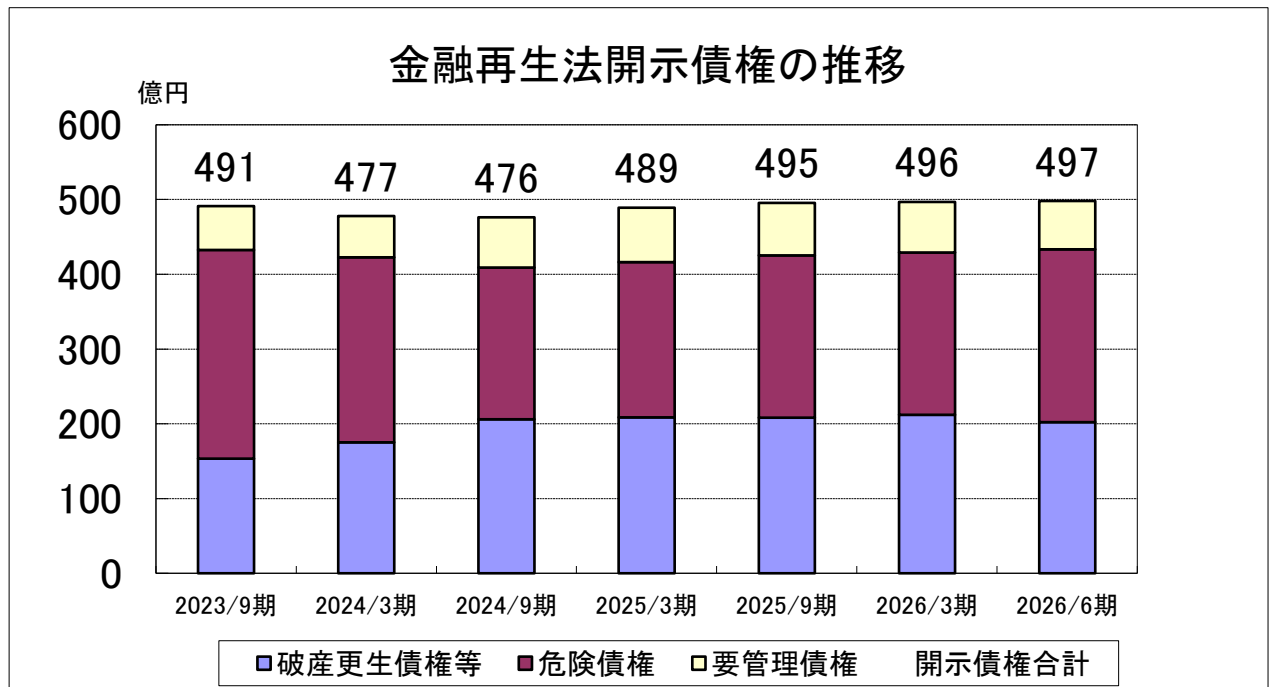
信用保証協会付融資残高は、前年同期比 83 億円減少し、2,455 億円となりました。

	(単位：億円)			(参考)(単位：億円)	
	2026年6月末	2025年6月末比	2026年3月末比	2025年6月末	2026年3月末
信用保証協会付融資残高	2,455	△ 83	△ 45	2,538	2,500

(4) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示 (単体)

開示債権合計額は、前年同期比2億円減少し、497億円となりました。また、総与信残高に占める開示債権の比率は同0.09ポイント低下し、1.94%となりました。

	(単位：億円)			(参考)(単位：億円)	
	2026年6月末	2025年6月末比	2026年3月末比	2025年6月末	2026年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	202	△ 2	△ 9	200	212
危険債権	231	7	14	223	216
要管理債権	64	△ 12	△ 3	76	67
開示債権合計	497	△ 2	0	500	496
正常債権	25,192	996	207	24,196	24,985
総与信残高	25,690	993	208	24,696	25,482
総与信残高比	1.94%	△ 0.09	△ 0.01	2.03%	1.95%



(5) 時価のある有価証券の評価差額 (連結)

「その他有価証券」の評価差額は、株価の上昇などにより前年同期比 865 億円増加し、2,038 億円の評価益となりました。

(単位：億円)				(参考)(単位：億円)	
	2026年6月末	2025年6月末比	2026年3月末比	2025年6月末	2026年3月末
その他有価証券	2,038	865	193	1,173	1,844
株 式	1,932	714	△ 12	1,217	1,944
債 券	△ 580	△ 205	45	△ 375	△ 626
そ の 他	686	355	160	330	526

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、評価差額は連結貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。
 2. なお、「満期保有目的の債券」及び「時価のある子会社・関連会社株式」の保有残高はございません。

(6) 自己資本比率 (国内基準) (連結・単体)

自己資本比率 (国内基準・連結) は、貸出金の増加などによりリスク・アセットが増加したことから、前年同期比 0.13 ポイント低下しましたが、10.69%と引続き高い水準を維持しております。

【連結】

(単位：億円)

	2026年6月末	2025年6月末比	2026年3月末比
(1) 連結自己資本比率 ((2)/(3))	10.69%	△ 0.13	0.21
(2) 連結における自己資本 の額	2,599	105	57
(3) リスク・アセットの額	24,314	1,269	73
(4) 連結総所要自己資本額 ((3)×4%)	972	50	2

(参考)(単位：億円)

2025年6月末	2026年3月末
10.82%	10.48%
2,494	2,542
23,044	24,241
921	969

【単体】

(単位：億円)

	2026年6月末	2025年6月末比	2026年3月末比
(1) 単体自己資本比率 ((2)/(3))	10.41%	△ 0.14	0.20
(2) 単体における自己資本 の額	2,499	103	55
(3) リスク・アセットの額	23,995	1,309	76
(4) 単体総所要自己資本額 ((3)×4%)	959	52	3

(参考)(単位：億円)

2025年6月末	2026年3月末
10.55%	10.21%
2,395	2,443
22,685	23,918
907	956

以 上